

【第三種郵便物認可】

# 育児支援

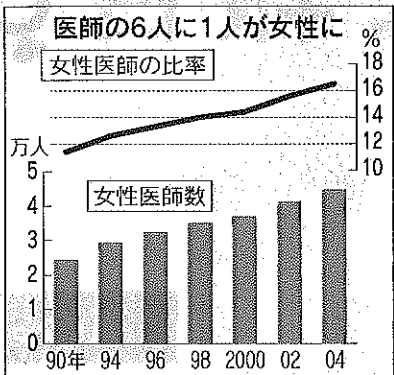
民間編

## イージェイネット

国家試験を突破し経験を進めたい」と話す。を積みながら、出産を機に離職せざるをえない女性医師は多い。医師不足のなか、この埋もれた宝を生かせないものか。

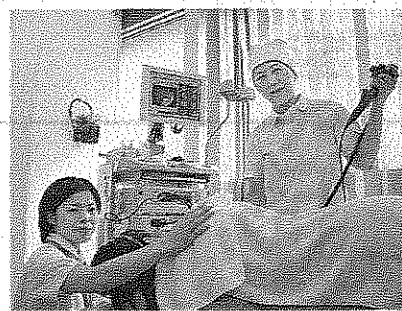
特定非営利活動法人（NPO法人）イージェイネット（東京・港）は、子育て中の女性医師が働きやすいかどうかを病院ごとに評価・認証する事業に取り組んでいる。医師で代表理事を務める瀧野敏子さんは「男女を問わず、医師が使命を全うするための環境づくりを

# 病院の育児環境 評価



昨年七月には第一号として大阪厚生年金病院（大阪市）を子育てしやすい病院に認証した。

同病院は当直できない女性医師の代わりに、外部の代替医師を雇用している。人件費は二〇〇六年度までの三年間で約三千八百万円増えたが、周辺で産婦人科の閉鎖が相次いだため、女性医師の収入はで・五倍になった。し



病院評価事業などで女性医師の子育て環境整備を目指す

# ママさん医師 働きやすく

でキャリアを積む先輩たちの貴重な情報をシンポジウムなどを通じて提供している。

例えば、ワイミズ・ウェルネス銀座クリニック（中央区）の吉田穂波さんは第一子を出産後に英国に留学し、産婦人科専門医の資格を得た。勤務条件に合ったベビシッターや育児施設を探した経験を、ほかの人たちにも役立ててもらえれば」と話す。

出産・育児経験のある医師だからこそ、患者や親族にとって心強い場面がある。女性管理職が増えれば、後に続く女性医師の働きやすさも増す。子育て環境は医療現場からも変えていく必要がある。（流合研士郎）

東京